

## 3

## 防災・減災のための情報活用

広島大学防災・減災研究センターでは、さまざまな調査研究を行うとともに、各自治体の防災担当部署と連携して担当職員の知識・能力向上の一助を担っております。

近年、デジタル技術の発達のおかげで、様々な防災・減災につながる情報を入手し、活用できるようになってきました。これからの時代は、誰もが受け身ではなく、積極的に防災・減災につながる情報を入手し、命を守るために利活用できるのです。知らないでいるのはもったいないですよ。

本講座では、その一例をご紹介します。

会場	対面： 広島大学 東千田キャンパス L棟5階 SENDA LAB 多目的スペース オンライン： -
時間	①13:30~14:45 ②15:00~16:15 ③16:30~17:45
定員	対面： 50名 オンライン： -名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 5/8(木) ※ 定員に達しなければ 5/26(月) (必着)まで先着順で受付

## 土砂災害危険箇所がなぜ広島に多いのですか？

講師： 広島大学 名誉教授 海堀 正博

## 第1回

6/5(木)

①13:30~14:45

中国山地が特別に険しいわけではなく、また、特に雨が多い地域でもないにもかかわらず、なぜか広島県は土砂災害危険箇所数が全国一多いところになっています。その理由を考えます。

## 防災・減災のための降雨情報の利活用事例の紹介

講師： 人間社会科学研究科 准教授 吉富 健一

## 第2回

6/5(木)

②15:00~16:15

災害時に自ら判断し行動できるよう、降雨時に雨量情報を気象庁から自動で取得して雨量指標の計算を行い、土砂災害の危険度を地図上に示すシステムをご紹介します。

## 身近な地域の自然災害のリスクを調べてみよう

講師：人間社会科学研究科 教授 熊原 康博

第3回

6/5 (木)

③16:30~17:45

最近、防災・減災に関連する空間情報を無料で閲覧できるようになりました。これを活用して受講生が住む地域の地形・土地条件・自然災害へのリスクを学ぶ方法を紹介します。

講座内容に関する  
お問い合わせ先

担当 学術・社会連携室 地域連携部

電話： 082-424-5691

メール： [chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp)